

平成28年度 租税教育実践事例（第3学年）

登米市立東和中学校

講師 林 佳舗

1 単元名 「政府の役割と国民の福祉」

2 単元目標

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
身近な社会資本や公共サービスについて調べる中で、政府の経済的な役割に関心を持つ。	国民の生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について、財源の確保と配分や、対立と合意、効率と公正などの観点から、多面的・多角的に考察し、公正に判断することができる。	財政に関する統計資料などから読み取ったことや考えたことを分かりやすくまとめることができる。	国民の生活と福祉の向上を図るために政府が果たしている役割について、具体的に理解することができる。

3 本時の指導

(1) 指導にあたって

国民生活の中で、税金がどのように使われているのか考えさせたい。そのため、実際に税を用いて作られている施設や設備などをあげさせることによって、身近なものとしてとらえさせたい。

(2) 言語活動について

- ・ペア学習を取り入れることで、考えの共有や深化を図れるような環境をつくる。
- ・グループでの話し合いでは、一人一人の意見をノートにしっかりと記入させる。また、班ごとの発表の際には、周りに聞く姿勢を持たせ、どのような意見でも、全員で拍手を行い一体感を持たせるような雰囲気づくりをしていく。

(3) 本時のねらい

- ・身近な事例を通して、税に関する関心を高めることができる。【関心・意欲・態度】
- ・話し合いを通して税金の役割に気づき、自分の考えを説明することができる。【思考・判断・表現】

(4) 指導過程（別紙）

(5) 評価

- ・身近な事例を通して、税に関する興味・関心を高めることができたか。【関心・意欲・態度】
- ・税金の役割に気づき、所得税と間接税の違いについて、自分の考えを説明することができたか。【思考・判断・表現】

段階	学習活動	形態	教師の支援
導入	1 身近な税について想起させる。	一斉	<ul style="list-style-type: none"> なるべく多くの意見をあげさせる。 テレビを活用し、本時の流れを説明する。
	2 本時の学習内容を確認する。 直接税と間接税の違いを考えよう	一斉	
課題の解決 (30分)	3 なぜ税金を納めるのか考え、プリントに記入する。	一斉	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導を行い、記入状況を確認する。 複数のペアに発表させる。 発表後、他のペアの意見をプリントに記入させる。 教科書や資料を参考に、これまで学習してきた家計と企業との関係から捉えさせる。 さまざまな税を種類別に分類させてみる。 ①誰が負担し納めるか(徴税方法) ②どこに納めるか(集める主体) まとめの時間を考えながら、時間を決め、声がけを行う。 各グループの代表者に発表させる。
	4 記入したプリントをお互いに確認し発表する。	ペア	
	5 政府はどこから収入を得て、どのようなことに支出しているのかを教科書や資料を参考に確認する。	一斉	
	6 国民が納める税金にはどんな種類があるか考えさせる。	一斉	
	7 直接税と間接税の違いを考えさせる。	グループ	
まとめ (10分)	8 直接税と間接税の違いについて、【納税者】と【担税者】をキーワードにまとめさせる。 解答例 所得税や法人税など、納税者と担税者が一致税金を直接税、消費税など、納税者と担税者が一致しない税金を間接税という。	一斉	<ul style="list-style-type: none"> 机間支援により、補足や激励をしたりして、個別的な指導・援助を行う。 次時の予告を行う。
	9 まとめたものを発表させ、振り返りを行う。	一斉	

租税教室（7月14日）について

登米法人会から講師先生を迎えて



講義では、1億円のレプリカを見たり、持ったりすることで、お金について興味を持ちながら学習することができました。また、後半のDVD視聴では、税金がなくなると、どのような町になってしまうのかについて理解することができました。講義の最後には、まとめとして納税の義務について詳しく学ぶことができました。

【生徒の感想から】

- ・今回の租税教室では消費税以外の税も日本にはたくさんあるということを知りました。自分達の身のまわりにある税金について、もっと詳しく知りたいと思いました。
- ・私たちが生活する中で使われている税金は、当たり前のように通っている学校や道路などに利用させていることを知りました。
- ・今までは税金という言葉聞くことは多くありましたが、詳しく考えたことがありませんでした。しかし、今回の租税教室を終えて、税金のありがたさに気付くことができました。これからはもっと税金について詳しく調べていきたいと思えます。

【成果と課題】

- ・自分達が納めている消費税だけでなく、所得税などもどのような使われ方をしているのかという関心を持つ生徒が出てきた。
- ・授業後にも、税金に対する質問をしてくる生徒がいるなど、もっと詳しく知りたいという欲求が高まったようである。
- ・税に対する意識が以前よりも強くなったことで、税金の必要性を以前よりも感じたようである。
- ・税金に対して、より深く学びたいという生徒がいる一方で、税は「取られる」ものと悪いイメージを持っている生徒がいた。今後の授業で引き続き、必要なものであるということを考えさせていきたい。